

令和6年3月6日

保護者、関係者の皆様

第3回学校運営協議会報告

山県市立大桑小学校

校長 杉山 正高

このことについて、本校の学校運営協議会会則第10条に基づき、次の通り報告します。

1. 実施日時 令和6年2月27日(火) 午前9時00分～午前10時45分
2. 出席者 学校運営協議会委員(欠席1名)、傍聴の希望者はなし 合計11名
3. 内容
 - 授業参観
 - 検討事項
4. 検討事項(別紙資料)
 - 令和5年度後期学校関係者評価について
 - 令和6年度学校経営グランドデザインについて
 - 令和6年度学校行事案について
 - その他
5. 検討結果
 - 令和5年度後期学校関係者評価について
 - ・児童・保護者・教職員学校評価及び学校経営について、教頭及び校長から説明し、承認された。
 - 令和6年度学校経営グランドデザインについて
 - ・令和5年度学校経営グランドデザインについて、校長から説明し、承認された。
 - 令和6年度学校行事案について
 - ・令和5年度学校行事案について、教頭から説明し、承認された。
 - その他
 - ・来年度の学校運営協議会委員の任命について→連合自治会長は、今年度末で任期満了のため、4月に承諾を得ることとする。
6. 各委員からの意見等
 - ・関係者評価から、子どもが「学校、授業が楽しい」と感じているところが良い。先生方は、みんなで学ぶことを大切にしながら授業を進めている。
 - ・授業では、先生と子どもたちとの信頼関係が成り立っており、和気あいあいと学んでいる。タブレットの活用や実験などの体験を通して学んでいることがよい。

- ・個別学習（ミシンの学習など）では、今後は地域の人に入っていただく機会を作るとよい。
- ・地域の行事に中学生も参加してくれた。よく動いてくれた。
- ・資源回収など、先生方も積極的に大桑や山県の教育の推進活動を行っている。
- ・一乗小との交流学习を生かして、大桑の子も大桑城の説明などの活動ができるようになるとよい。大桑城が国指定になり、子どもたちが大桑のよさを受け継ぎ、続いていくとよい。
- ・最近、あいさつをしても返してくれない子がいる。元気な挨拶をしてほしい。あいさつ運動などの取組を保護者も一緒にがんばって欲しい。
- ・挨拶やいじめ問題など、道徳教育がやはり大切ではないか。
- ・学校と地域、学園と連携を図りながら地域に根付いた子を育てたい。
- ・安全安心サポーターの方には、登下校の見守りをやっていただき、感謝している。
- ・他の地区では統廃合が進み一つの学校になるケースがあるが、山県市は「山県学園構想」という形をとらない。工夫してやっている。
- ・フェンスがない学校、地域の人がかんづん入ってくる敷居の低い学校を目指してはどうか。
- ・コーヒーが飲めるような「ふるさと資料室」を作ると面白いのではないか。

< R 6 への考察 >

- ・タブレットを上手に活用しながら、体験（体を使った）を大切にした授業を仕組む。
- ・大桑城のことを話せる（地域を大切に思う）児童を育てる。
- ・地域人材バンクへの登録の呼びかけと教育活動への活用を進める。
- ・環境整備・・・「ふるさと資料室」の整備計画
 学校の環境整備や、資源回収は、PTAの活動として取り入れる。
- ・110番の家、安心安全サポーターの方へのお礼の会を位置づける。
- ・「あいさつ」がいつでも誰にでもできる子にしていく。道徳教育、家庭、地域、みんなで取り組む。
- ・3校連携については、今年度の財産をもとに、教育の質を高め「3校で創りだす教育」「他の関係機関や地域とのつながりから、山県の誇りを持たせる教育」にさらにステップアップさせる。